



研究テーマ

珠洲寺家塩津上野地区のキリコ絵のデザイン及び制作
—大学コンソーシアム石川地域課題研究ゼミナール支援事業—

目的・概要

日本一の大きさを誇る珠洲寺家地区のキリコ絵を美大生に画いてほしいと珠洲寺家塩津上野地区住民から本学に依頼があり、地域連携事業の一環として取り組むこととした。須須神社に伝わる獅子岩伝説をテーマに女神の原画をデザインし、修士課程日本画コース6名の学生の手により、キリコ絵を完成させたもの。高さ16メートルもある巨大キリコを10年ぶりに描き替えた学生にとっては、自らが描いた作品が地域にどう評価され、溶け込んでいくか直に体感することができ、学内の活動では得難い教育効果をもたらすことができた。

委託者

珠洲寺家塩津上野地区

期間

2009年6月15日～2010年9月12日

担当教員

工芸科 川本 敦久 教授
美術科日本画専攻 佐藤 俊介 准教授

参加学生

修士課程・絵画専攻日本画コース2年 青木祐子 角井要平 佐藤佳奈
高 陽子 藤井麻理 山田紗英子

Process

2010.09.15

地区住民への
原画のプレゼンテーション
獅子岩伝説の説明の後、女神と
獅子の俯瞰図と横向図を提案、意
見交換を行う。
(珠洲寺家地区集会所)



2009.10月～12月

原画の修正協議、修正提案



2010.3月～4月

キリコ絵の描写・制作
6名の学生が1週間ほどをかけて
一気に描き上げた。
(金沢美術工芸大学・共同研修室)



2010.6.20

キリコ絵取り付け作業
地区住民の取り付け作業に参加、現
場で追加の絵の修正作業を行う。
(JAすずし寺家農産物集出荷場)



2010.9.11月～12月

キリコ絵のお披露目と
寺家地区キリコ祭りへの参加
地区の人々と一緒にキリコを曳
いて祭りを体感。
(珠洲寺家塩津上野地区)



Concept



キリコ原図

寺家の方々から絵のモチーフとなる言い伝えや逸話を聞き、地域の要望や意見を取り入れ、図案を地元で伝わる「女神と獅子岩」の伝説に基づくものに決定した。

